

主税連

高橋執行部スタート!!

く全青の魅力は、全青の活動にありく

Oct.15.2024 No.194

全国青年税理士連盟

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-21-8 代々木第10下田ビル7F
Tel 03(3354)4162 Fax 03(3354)4095

183
184
185
186
187
188
189
190
191
192
193
194
195
196
197

Content

会長就任挨拶 ————— P.3～4

全青の魅力は、全青の活動にあり 会長 高橋 紀充

部長・委員長就任挨拶 ————— P.5～10

8 部長・9 委員長の挨拶・抱負

各単位青税代表紹介 ————— P.11～13

9 代表紹介・地域での活動と抱負

第57回全国大会（名古屋大会） ————— P.14～23

第2部 定時総会報告

第1部 シンポジウム

名古屋大会総括 名古屋大会実行委員長 安藤 宣貴

東日本大震災遺構視察 ————— P.24

東日本大震災、震災遺構視察報告 会長 高橋 紀充

<全国青年税理士連盟執行部>

会 長	高橋 紀充(東 京)
-----	------------

各 部	部 長
総務部	藤原 功子(近 畿)
経理部	湊 真志(東 京)
研究部	小西 伸幸(近 畿)
組織部	江田佳銘子(近 畿)
厚生部	高井 真司(岐 阜)
法対策部	安藤 克哉(東 京)
国際部	木下 晃良(名古屋)
広報部	高柳 律彦(神奈川)

<委員会>

日 税 連 担 当 委 員 会	阿部 圭子(東 京)
三 青 会 担 当 委 員 会	吉澤 寿朗(神奈川)
全 国 大 会 実 行 委 員 会	野村 知栄(東 京)
会 長 等 推 薦 審 議 委 員 会	富川 和将(近 畿)
ホ ー ム ペ ー ジ 運 営 委 員 会	笹田 淳(近 畿)
税 理 士 P R 委 員 会	安藤 寛子(東 京)
税 理 士 制 度 対 策 委 員 会	大澤 貴昭(埼 玉)
税 制 対 策 委 員 会	澤井 貴介(東 京)
納 税 環 境 整 備 委 員 会	上原 章裕(千 葉)

全青税ホームページアドレス <https://aozei.com/>





会長就任挨拶

全青の魅力は、全青の活動にあり

会長 高橋紀充（東京）

1. はじめに

全国青年税理士連盟の皆様、こんにちは。この度、8月4日に開催された名古屋全国大会におきまして第58代会長に就任いたしました東京青年税理士連盟所属の高橋紀充と申します。

まず、名古屋全国大会におきましては、たくさんの方にお申込みやご参加をいただき、誠にありがとうございました。また、定時総会に上程した議案について多くのご質問、ご意見をいただきましたこと、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

皆様からいただきましたご意見等を踏まえ、今後、各部長、委員長、理事と一緒に検討を重ね、全国青税のさらなる発展のために事業を進めて参りたいと思います。

また、公私ご多忙の中、定時総会にご臨席賜ましたご来賓の皆様、祝電等をいただきました皆様にも心から感謝申し上げます。韓国からお越しいただきました韓国税務士考試会の皆様にも厚く御礼を申し上げます。

さて、最初に私の自己紹介を簡単に申し上げます。私は学生時代にこの税理士という世界を知りました。当時の指導教官（税理士）から税法について多くを学び、気づきを得て、今に至ります。税理士事務所勤務を経て、2009年（平成21年）に税理士登録をした後は、東京青税ではシンポジウム委員長、制度部長、研究部長、総務部長、会長を経験し、全国青税では、税理士制度対策委員長（福島執行部、水野執行部）、総務部長（森岡執行部）、法対策部長（富川執行部）を務めて参りました。特に、東京青税、全国青税両総務部長の頃はコロナ禍ということもあり、青税活動をどのように遂行していくか、当時の会長らと悩み、任意団体とは何かを深く

考える契機となったことは、結果として東京青税会長やこの度の全国青税会長就任にあたり、非常に有益だったと思います。以上のようなこれまでの私の青税経験を踏まえ、今年度は以下のとおり各部における活動方針を掲げ、皆様と一緒に活動して参りたいと考えております。

2. 活動方針

(1) 法対策部について

まず、法対策部の活動について申し上げます。

今年度の法対策部も昨年に引き続き、税理士制度、税制、納税環境整備の分野にそれぞれ委員長を任命し、各分野についてしっかりと検討、意見をして参りたいと思います。

世の中は良くも悪くも紙から電子へ、というデジタル化の波が一層強くなってきており、デジタル化の名のものとあらゆる手続き、処理が紙からデジタルに置きかわろうとしています。また、家族や個人の在り方も、私が生まれ育った時代からでも随分と変わってきています。このような今日の社会において、税理士業務、税理士の存在、税制について、私たちが自分たちのこととして向き合い、考え、そして提言していかなければ未来への道は拓けません。

先般の税理士法改正において税理士法第2条の3が追加されています。仮に法律に規定されていなくとも、団体名に青年という名前が入っている私たちが、デジタル化の流れについていけない、ということはあってはなりません。むしろ、デジタル化について先頭に立って調査研究し、税理士の業務との関連性をきちんと整理したうえで、何が納税者の利便に資するのか、税理士制度とどのように関係してくるのかなど、提言していく気概がなければいけないと感じております。

また、税制については、例えば所得税制でいえば課税単位や各種所得控除など、時代にあった税制が検討、提言されてしかるべき時期だと考えています。

そこで、法対策部を中心に、私たちが歩んでいく今後のあるべき税理士制度について検討し、未来が描けるように活動して参りたいと思います。

さらに、個人や家族の生活形態を考慮し、応能負担原則や公平、中立、簡素の視点をもとに、諸外国の税制も参考にしながら、一つでも二つでも新しい税制の提案ができるよう、国際部、研究部とも連携しながら検討、議論をして参りたいと思います。

(2) 組織部・広報部について

次に組織活動について申し上げます。昨年の富川執行部に引き続き、全国青税未加入の地域における若手税理士との交流を積極的に行い、全国青税への個人参加を促すことや、全国青税が魅力ある成果物等を残し、その成果物等を未加入地域の青税で共有していただくことで、団体としても全国青税への加入につながるよう活動して参りたいと思います。

また、成果物のみならず、日頃全国青税がどのような活動を行っているのかを知ってもらうことも重要ですので、税理士の職業紹介を兼ねて、広報部とも連携して、税理士を目指す学生や税理士を知らない若者に対しても活動を積極的に伝えていきたいと思います。青税未加入の現地の税理士とも協力し、職業紹介を通じた交流と職業紹介に関するあらたな実施形態を構築して参りたいと思います。

(3) 国際部について

国際部については、韓国との合同勉強会に加え、諸外国の税理士制度や税制を研究する時間を増やし、海外視察を視野に入れた活動をしたいと思っております。当連盟は、平成22年のドイツ視察（出国直前にアイスランドでの火山噴火の影響で渡航不能となり、視察中止）を最後に、韓国の他に団体としての視察、交流を行っておりません。今年度中での視察は難しいかもしれませんが、次年度以降に実施できるよう、その足掛かり、基盤を作っていきたいと思います。

(4) 研究部について

研究部については、シンポジウムに向けて各単位青税に日頃の研究の成果を集約していただ

くようお願いするとともに、シンポジウムの開催趣旨、方法について研究部長を中心に今一度しっかりと検証し、全国青税に所属する税理士にとって魅力あるシンポジウムにしていきたいと思っています。

(5) 厚生部・経理部について

厚生活動は、全青活動が円滑に行えるよう、また、各単位青税の枠を超えた税理士同士の交流が深まるよう、理事や会員同士の交流を図ることが目的ですが、今年度は毎月行っている理事会後の懇親会に加え、9月に開催されるみちのく理事会翌日に多数の理事と共に観光バス1台へ乗り合わせ東日本大震災の震災遺構視察を実施し、理事同士のさらなる連帯ができるよう活動して参ります。

その他、予算管理や経費精算業務等を担当する経理部においては、予算執行の進捗を適宜報告いただきながら、持続可能な全青活動のために必要な事業は何かなど検証するとともに、経費精算業務の合理化に取り組んで参ります。

3. 結びにあたり

冒頭、私は学生時代に税理士の世界を知ったと申し上げましたが、時が経つのは早いもので、あれから二十数年経ちました。しかし、私の税理士としての原点は、当時の指導教官が常日頃おっしゃっていた以下の言葉であり、この言葉こそ私が常に追い求めている税理士像です。

「納税者は税理士が護るんだ」

私たち税理士が、そして、私たちの税理士制度が、納税者をしっかりと護れるものとなるよう、この1年、部長、委員長、理事と一緒に私の全身全霊をかけて活動して参ります。

全国青税の活動は、会員の皆様の厳しく、時に温かいご支援がなければ成し遂げられないと思っておりますので、今後とも会員の皆様のお力添えをお願い申し上げます次第です。

最後になりましたが、第57回名古屋全国大会開催にあたり、1年以上にわたり入念な事前準備と段取りをしていただいた名古屋青年税理士連盟の安藤宣貴実行委員長はじめ、各単位青税の実行委員の皆様、そして名古屋青年税理士連盟や岐阜青年税理士連盟の皆様にご心から感謝申し上げます。結びとさせていただきます。

1年、どうぞよろしくお願い申し上げます。

部長就任挨拶・抱負

総務部



部長 藤原 功子

(近畿)

この度、総務部長を拝命しました近畿青税の藤原功子と申します。一昨年に法対策部長を務めた後、昨年は日税連担当委員長ということで全青税では比較的のんびりとしていたのですが、再び総務部長という大役が回ってきました。朝が早いのは苦手なので、とりあえず理事会前日の宿泊先を押さえるところから準備を始めました。総務たるもの段取りが大切ですからね。後は、総務部長を務めるにあたって、大事な場

面で体調を崩さないよう自己管理をしっかりしていきたいと思います。

さて、総務部長の最も重要な役割は、毎回の理事会運営です。会長をはじめ皆様には何も気にせずに活発な議論をしていただきたいので、会場の手配や議案書の準備など、いらぬ心配をかけないように段取りよく進めていきたいと思っています。今年度も継続して Zoom 併用の理事会開催となりますが、理事の皆様には是非ともオブザーバーを引き連れて現地参加をしていただき、各単位青税間の親睦を深めていただければと思います。また、全国大会についても軸となる実行委員会と力を合わせて盛り上げたいと思っています。

1年間どうぞよろしくお願いいたします。

経理部



部長 湊 真志

(東京)

今年度、経理部長を拝命しました東京青税の湊真志と申します。この6月に東京青税の会長職を終え、これで青税活動は引退かなと思っていたところ、高橋紀充会長からお声掛けをいただき、もう1年、青税活動をする機会をいただきました。

東京青税では部長職を5回、委員長職を1回経験したのですが、経理部長は初めてです。実

際に通帳等の引継ぎを受け、みなさまの会費をお預かりしているのだという重責を感じております。

私は細かいことが苦手な性分で、経理部の仕事である年3回の会費請求、毎月の経費精算などを漏らさず行うことは、最も不得意とするところです。うっかり者であります。経費の支払いをうっかり忘れてしまわないか、経費精算で振り込む金額をうっかり間違えてしまわないか、今から心配です。

しかし、引継ぎを受けたときに感じた重みを忘れずに、高橋会長からいただいた1年間を精一杯務めてまいります。1年間どうぞよろしくお願いいたします。

研究部



部長 小西 伸幸

(近畿)

全国青年税理士連盟の皆様、今年度、研究部長を務めることになりました、近畿青税の小西伸幸です。

前年度、会長等推薦審議委員会のメンバーであったこともあり、高橋会長から直々に声をかけていただきました。高橋会長を推薦した一人として、高橋会長からの依頼を断るという選択肢はありませんので、研究部長を喜んでお引き

受けしました。全青の部長職は初めてで、研究部も初めてですが、精一杯頑張ります。

さて、今年度のシンポジウムのテーマは、『「5年後の未来にあるべき税制について」～喫緊の社会問題に対し、税制から見た提言～』です。年を追うごとに変化している社会状況に対し5年先のあるべき税制について研究を深めることで、現時点における問題点や課題を抽出し、それを今後の税制改正意見書の作成や日々の業務に生かすことができればという意味合いで、テーマを選定しています。

皆様に楽しんでいただけるシンポジウムが開催できるように、精一杯取り組んでまいります。

1年間どうぞよろしくお願いいたします。

組織部



部長 江田 佳銘子

(近畿)

今年度、組織部長を拝命いたしました、近畿の江田佳銘子です。昨年度は税理士PR委員長として久々に全青税の理事に復帰し、今年度初めての部長職となりとてもおびえています。

組織部の活動については、総会でもたくさん

のご意見ご要望を頂きました。全青税のみならず各単位青税やその他の任意団体が共通して抱える問題は、会員の獲得はもとより、会員の減少防止、活動への積極的な参加の要請だと考えています。組織が継続、発展するために必要なことを、会長はじめ執行部、さらに組織部員とも協力、相談し、1年間活動をしてきたいと思えます。今年度も、岡山青税様、広島青税様との繋がりを維持しつつ、税理士PR委員会、厚生部とも協力し、現在の会員、未来の会員へ、全国各地での校流を図ってまいります。1年間どうぞよろしくお願いいたします。

厚生部



部長 高井 真司

(岐阜)

今年度の厚生部長を務めさせていただくことになりました岐阜青税の高井真司と申します。部長職は初めてでありますし、全国青税の理事になったのも最近でございます。力不足と重々承知していますが、1年間高橋会長を支えるべく活動できればと思います。

さて、厚生部の活動は、理事会後の懇親会と全国大会時の懇親会の運営が中心となります。

コロナの影響による懇親会の中止というのが懐かしいくらい、昨年度は懇親会を開催することができました。岐阜青税は会則に3つある目的の一番最初に「会員相互の親睦」が掲げられているステキな団体です。その岐阜青税の代表として、会員の皆様と「親睦」を図ることができればと思っております。

しかしながら、開催地の単位青税の方々にご協力いただかなければ運営をすることも難しいと思います。その際はご協力よろしくお願いいたします。

懇親会により親睦を深めていただき、より青税の活動が活発になればと思います。1年間どうぞよろしくお願いいたします。

法 対 策 部



部長 安藤 克哉

(東京)

今年度、法対策部長を拝命致しました東京青税の安藤克哉と申します。前年度は納税環境整備委員長を務めさせていただきました。法対策部長という大役ですが、納税者の権利擁護に資するための研究や活動等をすべく、全力を尽くして参ります。

税理士制度対策委員会では、税理士試験の税法科目受験資格要件に関する論点を整理し、また税理士制度を取り巻く諸問題について検討し

ます。

税制対策委員会では、税制の基本原則である「公平・中立・簡素」に沿って検討し、要望書を作成致します。また諸外国の税制についても研究しながら、真に国民のための租税制度が確立できるよう、行動して参ります。

納税環境整備委員会では、税理士の業務のデジタル化に向き合うため、税理士法2条の3を軸とした勉強会や意見交換会を開催致します。昨今の社会全体のDX化を注視し、納税者の権利擁護の観点から検討し、提言等を行います。

今年度も法対策部員以外も部会に参加できるよう案内しますので、多くの会員と現地でお会いして、忌憚のない意見をお聞かせいただけますと幸いです。

1年間、どうぞよろしくお願い申し上げます。

国 際 部



部長 木下 晃良

(名古屋)

今年度、国際部長を拝命いたしました、名古屋青税の木下晃良と申します。

国際部では、各国の税理士制度や国際税務について調査研究し、その成果を会員に還元することを活動の目的にしています。

具体的な活動として、韓国で韓国税務士試験会と「国際相続」をテーマにした勉強会を開催する予定です。国際的な相続に関する問題を取り上げ、試験会の方々との意見交換を通じて、新たな

視点や知見が得られることを期待しています。

次年度に日本で開催される予定の韓国税務士試験会との勉強会の準備では、「政策税制」をテーマにしたいと考えています。両国の政策税制に関する最新の動向や取り組みを学びながら、より良い税制のあり方について考える機会にしたいと考えています。

また、次年度にドイツへの視察を計画しており、今年度は視察のための研究を進めます。この研究は拡大国際部会で行う予定ですので、国際部の部員の方はもちろん、部員以外の方にも広く参加していただきたいです。

国際部の活動を通じて、関わる皆様の研鑽と交流、親睦が深まるように努めてまいります。至らぬ点もあるかと思いますが、1年間どうぞよろしくお願いいたします。

広 報 部



部長 高柳 律彦

(神奈川)

広報部長を務めます、神奈川青税の高柳律彦です。年2回の会報誌発行のほか、ホームページ運営委員会を主体に、全青税ホームページより、皆様への情報伝達を随時行います。税理士PR委員会は組織部のほか、三青会担当委員会とも連携し、未来の税理士たる学生をターゲッ

トに、他士業も交え税理士の魅力を伝えるべく活動してまいります。1年間どうぞよろしくお願いいたします。



委員長就任挨拶・抱負

日税連担当委員会

委員長 阿部圭子（東京）

今年度、日税連担当委員長を務めることとなりました東京青税の阿部圭子と申します。

日税連担当として日税連理事会・定期総会傍聴の手配と傍聴報告、日税政定期総会の傍聴手配と懇親会があればそちらにも参加し、国会陳情の手がかりとなるように活動します。

また、日税連執行部との懇談会の手配も行いますが、この懇談会は歴代の全青税執行部が繋げてきてくれた貴重な機会ですので、双方にとって有意義な時間となるように努めたいと思います。日税連理事会傍聴および日税連執行部との懇談会で見聞したことや交換した意見は、全青税の求める税理士制度の強化発展への布石になりますので、各単位青税からの参加を心よりお待ちしております。

1年間どうぞよろしくお願いいたします。

三青会担当委員会

委員長 吉澤寿朗（神奈川）

今年度、三青会担当委員会の委員長を務めさせていただきます吉澤寿朗と申します。

三青会の主な目的は、全国青年税理士連盟、青年法律家協会弁護士学者合同部会、全国青年司法書士協議会の三団体による情報交換を行うとともに、各会共通の問題について意見交換を行うことです。

前年度は三青会共同にてインボイス制度に反

対する集会を行い、大きな反響を呼びました。今年度も引き続き、インボイス制度の実務上の問題点を三青会で共有して問題提起を行ってまいります。

また、新たな取り組みとして、三青会共同で学生向けに職業紹介を行います。この職業紹介を通じて、学生に各士業の特徴を理解してもらい、将来の職業選択に役立ててほしいと考えております。

従来之三青会活動の枠にとらわれず、新しい試みにも積極的にチャレンジしてまいります。1年間、どうぞよろしくお願い致します。

全国大会実行委員会

委員長 野村知栄（東京）

全国大会実行委員長をお引き受けいたします、東京青税の野村知栄（のむらともしげ）です。

第58回全国大会は東京で開催いたします。令和7年8月3日に「京王プラザホテル東京」で開催予定です（会場は予算や企画内容により変更があるかもしれません）。

全国青税の活動を活発にしたいという思いは、皆様同じだと思います。

第58回全国大会も酷暑の中での開催ですが、ご承知のとおり東京は交通の便がよく芸術や文化に触れることができる施設やイベントもたくさんございます。是非この機会に東京開催の全

国大会にご出席いただき、東京の様々な芸術や文化に触れ、皆様の思い出に残る楽しい時間をお過ごしください。そして各単位青税の皆様との懇親はもとより、会員の皆様が全国大会に出席いただくことが旧執行部の労いになり、新執行部の更なるモチベーションにもなります。

全国大会が盛会となるよう精一杯務めて参ります。皆様からの積極的なご意見やご指導を賜り、今までで一番よかったと感じて頂ける全国大会を目指したいと思っております。そのためには、企画準備段階からの会員の皆様一人一人の協力なしでは実現することができません。一致団結して全国大会を作りましょう。皆様の積極的なご参加や東京大会へのご出席をお待ちしています。

会長等推薦審議委員会**委員長 富川 和 將 (近畿)**

みなさまこんにちは。

今年度、会長等推薦審議委員長を拝命しました近畿青税の富川と申します。

私自身、会長職がやっと終わったばかりで一息付く間もなくの就任になります。

前年度はみなさま多大なるご協力誠にありがとうございました。

今年度は前会長として高橋会長を強力にサポートできればと考えております。

また、会長等推薦審議委員会では出来るだけ早くに次の会長候補を選出し、次期会長予定者が次期の人事や事業計画など準備に多くの時間を使えるようにし、会長に就任するまでの相談役となれるよう全力で活動を行ってまいります。

みなさま、今年度もご協力宜しくお願い致します。

ホームページ運営委員会**委員長 笹田 淳 (近畿)**

ホームページ委員長を拝命した近畿青年税理士連盟の笹田淳です。

1年間全国青税のホームページの管理運営をさせていただきます。ホームページには全国青税各部の活動内容や成果物が掲載されており、青税活動を知っていただく最初のツールですので、会員外の方に青税の活動や魅力が伝わるよう、適時ホームページを更新していきたいと思

います。もちろん会員の方にも現在の全国青税の活動が伝わり、会員全体から応援していただけるようになることを期待しています。

ホームページの更新にあたり、当然に原稿が必要になってきます。皆様に原稿依頼をさせていただきますので、依頼があった際は「よろこんで!」と引き受けていただけますようお願いいたします。

それでは1年間高橋年度を支えるため努力を続けます。皆様のご協力よろしくお願い致します。

税理士PR委員会**委員長 安藤 寛子 (東京)**

税理士PR委員長を拝命いたしました東京青税の安藤寛子と申します。

私が税理士を目指したのは大学生のときでした。経営者だった父が病床に伏しても、顧問税理士の先生は最後まで月次報告に来てくださり、家族を励ましてくださり、その姿に憧れました。

今度は私が委員長として、大学生を中心とし

た若い世代に税理士の魅力を伝え、税理士を目指すきっかけを作り、合格後は青税の仲間となってもらえるように積極的にPRを行ってまいります。

今年度で3年目となった税理士PR委員会は、持続可能な活動を目指すため、広く委員を募集する予定です。委員会にご参加いただけそうな方がいらっしゃいましたら、ぜひ教えてください。

至らぬ点多いと思いますが、1年間どうぞよろしくお願い致します。

税理士制度対策委員会

委員長 大澤 貴 昭 (埼玉)

この度、税理士制度対策委員長を仰せつかりました、埼玉青税の大澤貴昭と申します。

税理士制度は諸先輩方（青税の内外を問わず）が営々と築き上げてきたからこそ、今なお健在であるのだと感じております。その思いは変わらないのですが、とある際にこのようなお言葉を耳にしました。「税理士バッジは未来の税理士からの借り物である」のだと。

昨今、AIの台頭が叫ばれ、私たちの無償独占業務が脅かされるかも、という懸念も聞こえてきます。加えて、インボイス制度や定額減税など税制も無闇矢鱈に複雑の一途を辿っています。このような中だからこそ、国民納税者から真に求められる税理士制度とは何かを問い直す必要があるのではないのでしょうか。

何分非力な私ではございますが、皆様の熱い想いと深い見識を結集すれば、道を見いだせると考えておりますので、1年間お力添えのほどお願い致します。

税制対策委員会

委員長 澤 井 貴 介 (東京)

今年度、税制対策委員長を拝命いたしました東京青税の澤井貴介と申します。

税制対策委員会では、税制の基本となる公平・中立・簡素の3原則をもとに、あるべき税制について検討を行い、税制改正の要望書を作成して参ります。毎年タイトなスケジュールではあ

りますが、全国青税らしい気概のある意見を発信して参ります。また今年度は、物価スライド税制など前年度からの検討事項も引続き研究対象としていき、これを活動の成果に繋げていきたいと考えております。

私自身はコロナ禍の数年、本業に専念し充電期間をいただいておりますので、少しばかりリハビリをさせていただきつつ、1年間楽しく皆さまと活動していければと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

納税環境整備委員会

委員長 上 原 章 裕 (千葉)

納税環境整備委員長を拝命しました千葉青年税理士連盟の上原章裕です。今年度の納税環境整備委員会では、大きな柱として、会員有志の方々の多大なるご協力の下、税理士法2条の3を軸とした勉強会と意見交換会を行うべく現在先方と協議中です。納税環境整備委員会では、これまで納税者権利憲章や納税者を守るための

滞納処分チェックリストといった、納税者の権利擁護について皆様のご意見を募り、成果物としてまとめてきました。今年度はそのマインドを承継しつつ、我々税理士の業務をもう一度見つめ直し、自らの仕事の効率性を上げながら納税者擁護に繋げるべく検証していきたいと考えています。法対策部会や理事会はもちろん、メーリングリストその他皆さんの積極的なご参加をいただき、実りある1年にしたいと考えております。どうぞよろしくお願い致します。

単 位 青 税 代 表 紹 介

東京青年税理士連盟

会長 石 山 貴 裕

東京青税 64 回定期総会で会長に就任しました石山貴裕です。2015 年 65 回税理士試験に合格し、2017 年に東京会麻布支部で開業しました。東京会では支部組織部長、東税政では政策委員を務めています。全国青税では 2017 年に国際部長を務めました。

さて、2022 年に 60 周年を迎えた東京青税は会員約 500 人で構成し、総務、経理、組織、広報、厚生、研究、実務研修、制度、税制調査、計 9 人の部長と 6 人の副会長を始め、役員 89 人で会務を運営しています。税理士制度の研究と次

なる税理士法改正に向けた提言、税制改正要望書や意見書の作成、東京会総会議案に対する発言、東京会執行部との懇談会、税法学原論研究会、判例研究会、裁判所見学会、ほぼ毎月開催する実務に役立つ研修会、全国青税シンポジウム参加、青山学院大学生とのディベート大会、年 2 回の厚生行事と各種同好会活動、税理士試験合格者祝賀会、合同同期会や事務所見学会等の新合格者向け企画、専門学校との意見交換会、X（旧 twitter）による税理士試験受験生応援、小笠原無料相談等の公益活動、年 5 回の広報誌発行、ホームページや SNS による広報活動、これら多岐にわたる活動にフル参加を目指します。よろしくお願いいたします。

近畿青年税理士連盟

代表幹事 濱 田 誠 二

皆さまこんにちは。近畿青年税理士連盟第 60 代代表幹事の濱田誠二です。近畿青税は近畿 2 府 4 県で構成されていて、各府県にはそれぞれ支部があります（奈良県支部は現在休会の様な形になっています）。各支部での活動をベースに、近畿青税では、各支部から意見を取りまとめて近畿税理士会に税制改正意見書などを提出したり、近畿税理士会の総会で質問を行ったり、近畿税理士会の役員との懇談会を開催するなどして、青税の意見を近畿税理士会に届けることを役割としています。

また、今期の近畿青税は、X による情報の発信、連盟と各支部との共催研修の企画、近畿税理士政治連盟との懇談会の開催、西田昌司参議院議員との懇談会の開催など、連盟としても多くの事業を企画し、各支部との結束をさらに強めていきたいと考えています。

さらに今期は近畿青税が 60 周年を迎える年度であり、富川前全青税会長に実行委員長をお願いして、60 周年記念事業に向けて準備を進めている所です。

今期も近畿青税から多くの役員を全青税に輩出しており、皆様と協力して全青税を盛り上げて参りたいと思います。

1 年間、よろしくお願いいたします。

名古屋青年税理士連盟

会長 池田 大志

今年度、名古屋青年税理士連盟の会長を務めております池田大志と申します。

名古屋青税は45歳以下の正会員と賛助会員の約570名で構成されています。今期の名古屋青税は「成長」をテーマにして活動しています。現在、税理士を取り巻く環境は、税制改正やデジタル化などによって目まぐるしく変化しています。インボイス制度・電子帳簿保存法・定額減税など、国民や企業に負担のかかる改正も多く見受けられます。そんな時代だからこそ、我々

若手の税理士が一段ギアを上げて、仲間とともに「成長」し、新しい道を切り開いて行くことが現在の名古屋青税に課せられた使命だと思いこのテーマを設定しました。これまで通り研究発表や研修、懇親、ディベート大会等を通じて「成長」できる環境を用意するのはもちろんのこと、急激な変化に対応できるよう規約改正、意見書、意見交換会、会員アンケートなどを行う総合企画・検討委員会を新設しました。

一人一人が成長し、青税をさらに盛り上げていくとともに、税理士の社会的地位の向上に努めていきたいと思っています。今後ともよろしくお願いいたします。

神奈川青年税理士連盟

代表幹事 深沢 智仁

今年度、神奈川青年税理士クラブの代表幹事に就任いたしました深沢智仁と申します。55期を迎えた神奈川青税の歴史と伝統を鑑みると、光栄に思うと同時に、身が引き締まる思いです。

コロナ禍前のように活発な活動を行い、この神奈川青税の伝統のバトンをしっかりと次世代に引き継いでいくことが私の役目だと認識しております。今年度の神奈川青税のスローガンは、「そうだ 青税、行こう」です。これまで多くの会員が、学び、議論し、交流を深め、経験し、

経験を分かち合い、成長していった、この青税という場を大切にするとともに、同じ志を有する全国の青年税理士の皆様と一緒に活動していきたいと思っています。そしてその志が、まだ青税に入会していない青年税理士や入会していてもなかなか青税の活動に参加できていない青年税理士に伝播していくことを切に願っています。これから一年間どうぞよろしくお願いいたします。

(情熱があるからこそ厳しい意見を交わし、ギスギスしてしまうときもあろうかと思いますが、会議が終わればノーサイドの精神で、仲間同士、楽しくお酒を飲みましょう～！)

埼玉青年税理士連盟

代表幹事 駒形 哲郎

皆様こんにちは。今年度埼玉青年税理士連盟の代表幹事を務めます駒形哲郎と申します。

埼玉の大きな特徴は、何と言っても「アットホーム」です。皆様が仲良く協力し合って物事を進められる体制が、自然に出来ています。現に、新執行部になってから、私が何も申し上げなくても、皆様が自然と動いて下さっています。故に、皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。

この様に内部に憂いが少ないからこそ、代表幹事としてすべきことは何かと考えました。そこで、代表幹事として、埼玉の魅力を全国にお伝えすることが大切と考えました。その一環として、全青理事会に積極的に出席・発言致したいと考えます。そして、埼玉の魅力だけでなく、全青の魅力を埼玉にきちんと伝え、埼玉と全青の連携をしっかりと図っていきたいと考えます。

それでは、約1年間、埼玉と全青を盛り上げる為に職務を全う致したいと考えますので、宜しくお願いします。

千葉青年税理士連盟

会長 山崎 喬

2024年度の千葉青年税理士連盟の会長に選任されました山崎喬と申します。千葉青税と同じ47歳で、現在は松戸支部で独立開業しております。実は、4年前のコロナ騒動元年にも会長をしており、異例の「再登板」になります。今回、千葉青税では、諸般の事情により、会長の負担軽減を図るべく「会長＝千葉青税内部の世話役＝全国青税の窓口担当」から「会長＝千葉青税内部の世話役」に会長の役割を限定させて

いただき、別途、「全国青税の窓口担当」を設けさせていただきました。（山崎&亀川会員の2人体制）私自身、3人の子供を持ち、末っ子はまだ6歳ですので、「日曜日は完全OFF 子供と過ごす時間」と決めておりますので、全国青税の理事会等の活動には参加できません。何卒ご了承ください。千葉青税内部の役割をセパレートして1人当たりの「負担感」を軽減することが、今後の千葉青税の会長の担い手不足の解消にも寄与することを期待してのことであります。任意団体の役員の担い手不足に直面しております。

岐阜青年税理士連盟

会長 佐々木 靖 高

今年度、岐阜青年税理士連盟の第48代会長を務めさせていただいております佐々木靖高と申します。

岐阜青税は、45歳以下の正会員39名、46歳以上の準会員79名で構成されています。2年後に50周年を迎えますが、この2年で12名が準会員となり、正会員の減少という深刻な問題を抱えております。4月の定時総会では、規約の一部改訂を実施し、入会から5年間は青税の活動ができるように変更をしました。50周年に

向けて、新入会員の増強に力を入れていきます。

今年度は、青税活動を「楽しむ」をテーマに取り組んでおります。8月には名古屋で全国大会、シンポジウムが開催されました。岐阜青税らしく「楽しく」参加できたのではないかなと思っています。

岐阜青税は親睦と研修に力を入れています。楽しく親睦を深め、楽しい研修を実施し、税理士1人1人が、社会に貢献できる組織として成長していきたいと思っています。

全青税の活動につきましても、岐阜青税らしく参加させていただきます。一年間よろしくお願いいたします。

みちのく青年税理士クラブ

会長 原 勉

熊本青年税理士連盟

会長 下田 幸雄

第57回 全国大会（名古屋大会）

第2部 定時総会報告

新会長は高橋紀充会員（東京青税）

2024年8月4日、全国青年税理士連盟第57回定時総会（名古屋大会）がANAクラウンプラザホテルグランコート名古屋にて開催されました。総会は14時30分より、田畑達也会員、寺澤英里会員（名古屋青税）の司会のもと、今井司会員（東京青税）の開会の辞により開会されました。まず、司会者より来賓の方々が紹介されました。次に、議長として三谷智会員（近畿青税）、鈴木茂和会員（東京青税）、仙田浩人会員（名古屋青税）の3名が選出され、議事が始まりました。

議案審議

第1号議案（2023年度事業報告承認の件）は、阿部圭子総務部長（東京青税）より2023年度の事業活動が説明され、第2号議案（2023年度決算承認の件）は岩澤英彦経理部長（千葉青税）より決算の報告がなされました。続いて決算について、妹尾明宏会計監事（名古屋青税）より会計監査報告がなされました。質疑に入り、水野誠会員（名古屋青税）より懲戒処分に関するリーフレットを新入会員等へ周知・配布する予定の有無について質問があり、高橋紀充法対策部長（東京青税）より、当該リーフレットに関しては既に全青税ホームページへ掲載している旨及び各単位青税にて若手会員等への注意喚起を踏まえた周知依頼を行った旨の説明がありました。永岡稔会員（近畿青税）より経費支出

の増加原因及び収支計算書の記載箇所について質問があり、富川和將会長（近畿青税）より税理士PR活動やコロナ明けに伴う活動の活発化、交通費等物価上昇や国際交流の再開による影響及び



富川前会長あいさつ

記載箇所について説明がありました。植木心一会員（近畿青税）より会員間の交流の在り方について意見があり、富川和將会長より次年度へ引き継ぐ旨の回答がありました。坂本和穂会員（近畿青税）より日税連等に対して青年税理士としての情熱をもって未来を見据え積極的に発言していくよう、要望がありました。城田英昭会員（神奈川青税）より組織拡充の目的と次年度以降の活動の継続について質問があり、富川和將会長より今年度はまずは個人会員の獲得に力を入れたこと、会長経験者として次年度も積極的に組織拡充に向けた活動に協力をする所存である旨の回答がありました。菊池純会員（東京青税）より令和6年4月から不特定多数の者による懲戒処分の閲覧が可能となったことに対する全青税の意見及び懲戒処分に関するリーフレット作成時の議論の状況について質問があ



総会司会者



議長団

り、高橋紀充法対策部長より改正法施行とリーフレット作成の時期が異なることから、次年度でも引き続き検討する旨の説明がありました。

議長は裁決に入り、第1号議案並びに第2号議案ともに賛成多数で可決されました。

第3号議案（役員改選の件）は会長等推薦委員長の山田隆一会員（近畿青税）より、推薦の経緯、推薦者の経歴等が説明されました。続いて新役員の名簿が配布され、高橋紀充新会長（東京青税）をはじめとする新役員が満場の拍手で承認されました。そして新旧執行部交代の後、高橋紀充新会長をはじめ新役員の紹介が行われました。

第4号議案（2024年度事業計画承認の件）は藤原功子新総務部長（近畿青税）より、第5号議案（2024年度収支予算書承認の件）は湊真志新経理部長（東京青税）より上程されました。質疑に入り、城田英昭会員、水野誠会員、今元明彦会員（近畿青税）、坂田覚会員（東京青税）、篠田喜代子会員（近畿青税）、上坂淳会員（近畿青税）らより、具体的な活動等及び各単位青税の会員数減少への対応の件、活動内容と予算の関連性の件、インボイス制度廃止に向けた活動の件、次なる税理士法改正に向けて重点的に取り組むべき論点、シンポジウムの発表形態に関する今後の方針、組織の充実に向けた既存会員への活動の魅力の伝え方、について質問があり、高橋紀充新会長より現状の報告及び会長としての考えや抱負を踏まえた回答がなされました。また、植木心一会員、小池幸造会員（東京青税）らより、国税不服審判所の在り方についての議論及び先輩会員の体験談を拝聴できる場の検討、任意団体が海外視察に行く意義や目的、全青予算の関連性に関する要望がありました。

その後、議長は裁決に入り、第4号議案並び



高橋新会長

に第5号議案ともに賛成多数で可決されました。

最後に、第6号議案（大会宣言採択の件）が水野貴郎会員（名古屋青税）によって読み上げられ、満場の拍手をもって採決されました。

総会の議案審議が全て承認可決され、議長団は議長席から降壇しました。

新会長の挨拶として高橋紀充新会長より、今後1年間の活動方針の抱負が熱く語られました。

続いて、ご来賓の方々より祝辞をいただきました。ご来賓としまして、日本税理士会連合会・太田直樹会長、名古屋税理士会・尾崎秀明会長、東海税理士会・片山泰宏会長、韓国税務士考試会・李錫政会長、青年法律家協会弁護士学者合同部会・笹山尚人議長、全国青年司法書士協議会・宮部正樹副会長、税経新人会全国協議会・井上礎幸理事長、と多くの方々にご臨席を賜りました。

最後に、河合基裕副会長（岐阜青税）の閉会の辞により全国青年税理士連盟第57回定時総会が無事終了しました。

（総務部長 藤原功子）



質問者



開会宣言

第1部 シンポジウム

シンポジウムを終えて

石澤 健太（神奈川）



2024年8月4日、一年かけて準備をしてきたシンポジウムが、名古屋の地にて開催されました。全国大会とシンポジウムが同日開催となって3回目ですが、今回は順番を入れ替えて、第一部として初めてシンポジウムを先に開催するといった方式でした（その理由は割愛させていただきます）。当日は多くの関係者の皆様のご尽力によって大きな盛り上がりの中、無事に終了することができ、私もホッとしていると同時にやりきった安堵感・充実感でいっぱいです。

さて、今回のシンポジウムの大テーマは『新時代に求められる税理士の役割』です。日進月歩で進むICT技術やAI技術、また令和4年度税理士法改正によって二条の三（税理士業務ICT化の努力義務）が新設されたことなど、社会は新しい時代に突入していますが、そのような中で我々税理士は何を求められ、納税者の期待に応えられるか、といった壮大なテーマです。

2013年に、英オックスフォード大学の准教授（当時）であり、機械工学やAIの権威であるマイケル・A・オズボーン氏の論文にて『20年後に消える職業』の一つに税理士があったことは我々にとっても衝撃的でした。それから10年超が経過していますが、その論文に記載されていた通り、ルーティンワークである会計記帳業務や簡単な申告書の作成はAIが担うほどに技術が進化しています。一方で単純作業から解

放された税理士や事務所職員は、それによって創られた時間で付加価値や生産性の高い、新たに高度・複雑化された業務へとシフトしてきたのが現状ではないでしょうか。AIに仕事を奪われるのではなくAIの進化にあわせて、税理士自身も進化しています。

ChatGPTやGEMINIといった生成AIに『税理士業務は無くなるの？』と尋ねると『無くなることはない』と回答が得られます。税理士業務を奪うといわれていたAIそのものが『税理士業務は無くならない』と言ってくれているわけですね。

一方で、高度・複雑化された業務に伴い、無償独占を維持できるか、業際問題や賠償責任はどうなるのか、いかにして納税者や税理士の権利を護っていくのか、といった新たな課題もあります。今回の各単位青税の論文は、まさにそこに着目した素晴らしい7つの成果物となり、その内容に沿った、笑いあり、涙あり、感動あり、の大盛り上がりの発表となりました。今回の論文作成や発表に至るまでに調査・研究した内容が、皆様の今後の税理士業務の一助になれば幸いです。

各単位青税の論文や発表の内容は、この記事の後に、担当者からの報告という形でお任せ致しますので、私の報告はここまでとさせていただきます。

最後に、シンポジウムが大きな盛り上がりで成功の中で終わることができたのは、全青研究部の皆様や安藤前実行委員長をはじめとする実行委員会の皆様、ご当地名古屋青税会員の皆様、何よりも論文作成から発表までシンポジウムのために時間を割いて頂いた会員皆様のご協力があったからこそと感じております。この紙面の場をお借りいたしまして、心より感謝申し上げます。閉会挨拶や表彰時に会場の皆様の楽しそうな顔を見ることができ、私自身とても幸せな気持ちでした。

本当にありがとうございました。



シンポ司会



発表風景（名古屋青税）



発表風景（近畿青税）

各単位青税報告 (シンポジウムに参加して)



名古屋青税

各務 豊

令和5年度の制度部長に任命されてから全青税シンポジウムの発表まで約1年と2カ月、部員の皆様に支えられ、苦しくも楽しい日々を過ごしながら準備をしてまいりました。制度部での活動経験がなく右も左もわからないところから始まり、本当に最後までやり切れるだろうかというのが正直な感想でした。そんな私に突然部長をやってくれと言ってきた当時の名青税会長、副会長はいったい何を考えていたのでしょうか。

さて、愚痴のような前置きはこれくらいにしておいて、今回のテーマは「書面添付制度について」です。書面添付制度はそもそも添付率が低く、部員の中でも制度を利用したことがある人が少ないため、手探りで部の会が続く、軌道に乗るまでに非常に時間がかかったことが印象的です。論文作成に関しては部長が引っ張っていくのが本来だとは思いますが、優秀な部員の皆様におんぶに抱っこ、それどころか肩車までしてもらいなんとか完成にこぎつけることができました。本当に感謝してもしきれません。

しかし、ここで問題となったのが発表方法についてです。前年の発表のようにパネルディスカッション形式でいくのか、はたまた寸劇を取り入れるのか…。折衷案？ということで「そこまで言って委員会」を模した方法で行いました。がうまく皆様にお伝えすることはできたでしょうか。なんとか持ち時間に収まるように台本を作成しましたが、これが想像以上に難しく、どこを削りどこを残すのか試行錯誤の日々でした。

迎えたシンポジウム当日は開催地から発表ということで、24時間営業している居酒屋に集合し小さい声でリハーサルです。こんなことを言うと思われるかもしれませんが、私自身は裏方役でしたのでそこまで緊張というものはありませんでした。大きなトラブルもなく無事に発表を終えることができたので一安心です。

名青税に入会してからはや数年、今までは見る側として参加していた全青税シンポジウムでしたが、今回初めて発表側で参加しました。最終的には芳しくない結果となってしまいましたが、なかなか普段の仕事では経験することができない機会をいただき、本当に楽しく活動することができましたので個人的には満足しております。

昨年度からの引き続きのため、すでに新年度の役員として各部・各委員会で活躍する方が多く、大変忙しい中今回の発表に携わっていただきました。発表委員会にご協力いただいた皆様、また当日会場で発表を見ていただいた皆様、本当にありがとうございました。





岐阜青税

鷲見 信人

はっはっは、地球を侵略に来ましたフリーザ軍のザーボンです。改め岐阜青税の鷲見です。

昨年 of 年末か、年明けごろに塚原前岐阜青税会長、佐々木岐阜青税会長から声をかけて頂きまして発表に向けて準備を行って来ました。昨年の岐阜青税の論文、寸劇を拝見しておりまして、特に論文は会計ソフトベンダーのアンケートなども取っており、「結構ハードルが高いな…大丈夫かな…」と思っていたのが正直なところです。論文の執筆は時期が確定申告期に重なることもあり、スケジュールがかなりタイトでしたが、なんとか皆さんの協力のお陰で完成させることができました。原稿を夜中1時、2時に送る、送られてくることもあり、ブラック企業体制で魂の入稿を果たしました。共同執筆者の服部さん、箕浦さんお疲れ様でした。

その後、5月、6月頃から台本作成、寸劇の練習を始めました。寸劇については今年、鳥山明先生が亡くなってしまいましたので、追悼の意味も込め、ドラゴンボールをネタとしてやろうということになりました。石黒会員に台本の作成に多大なるご尽力を頂きましたが、台本を初めて見たときは「これを公の場でほんとにやるんか…？」と若干引き気味で練習を始めました笑（鳥山先生ごめんなさい）

6月以降は毎週集まり、練習を重ねていきま

した。練習の際には出演予定のない会員の方にもお集まりいただき、様々なご意見をいただいたほか、過去の寸劇出演者であり、今回悟空役を務められた北川会員から「恥を捨て、キャラクターになりきれ！」という熱いアドバイスを頂き、各々、キャラクターにどっぷり浸かり演技の完成度を高めていきました。

私自身、シンポジウムに参加するのは今回が初めてで、本番の寸劇ではとても緊張しましたが、振り返るととても貴重な経験をさせて頂いたと思います。また、岐阜青税の皆様との親睦もより深めることができました。地球を征服（優勝）することは叶わず残念ではありましたが、何物にも代えがたい様々なものを得ることができました。

最後に、今回のシンポジウムに向けて練習にお集まり頂きました皆様、台本・パワーポイント作成を行って頂いた皆様、貴重なご意見を頂いた皆様、運営に御尽力いただいた全国大会実行委員会の皆様に厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。また、寸劇の最後に元気玉にパワーを送って頂いた皆様ありがとうございます。悟空も最高の元気玉をフリーザにぶつけられました！魔人ブウであってもあれは倒せましたね。（無茶ぶりすみません）

来年の東京大会でも岐阜青税らしさを発揮できることを楽しみにしております！



近畿青税

濱田 誠二

シンポジウムの発表が秋頃開催されていた数年前とは異なり、8月の全国大会の開催に合わせて行われるようになってから、6月に執行部が変わる近畿青税は毎年、前事業年度のシンポジウム委員長と新事業年度のシンポジウム委員長が力を合わせて準備を実施してくれています。

今年は新事業年度の伊庭シンポジウム委員長が前事業年度に作成された論文を基に発表内容を考えてくれました。テーマは「AIと税理士業務の未来」。前事度のテーマが「2050～AI全盛時代における税理士業務の考察～」と2年連続で「AI」のワードが出ており、論文の結論としては重複する部分もあったかも知れませんが、発表内容は非常にオリジナリティに溢れる内容だったと思います。

発表形式は毎年寸劇スタイルで行っており、何年前かに近畿でも行ったディベート形式も検討したのですが、寸劇形式もみんな楽しく気張らずに出来るので、年に一度はこういった形式でも良いのかなと思います。

劇中では最初は映像を使用する予定だったのですが、去年の近畿の発表で映像トラブルがあったこともあり、今回は劇中では映像を使用しないこととし、映像の中で出演するだけの予定だった私も会場の壇上に引っ張り出されました。最初は代表幹事の私は代表幹事でありながら一言も発しないエキストラの役割だったのですが…。

近畿は笑いを取らなければとの謎の使命感から所々にネタを仕込んでいたのですが、重要な

ネタを一つ飛ばしてしまうなど、緊張感のある会場の中ではなかなか練習通りにいかないものです。

寸劇が始まる前に代表者が発表の見所などを最初に話すという事でしたので、「完全なるオリジナルキャラクターで完全なるオリジナルストーリーです。」と話したのは「全然オリジナルやないやないかーい！」という皆様のツッコミを期待しての発言でしたが、皆様、心の中で突っ込んでいただけましたでしょうか？

出演者として準備、片付けなども行っていたため、他の単位会の発表をしっかりと拝見する事が出来ず、出来栄えについて他の単位青税との比較が出来なかったのですが、準備や片付けの際中の衣装などを拝見するに、皆様も非常に力を入れて準備されていた事が分かります。今年は審査方法が例年と異なり、会場の人々の投票で審査されるとの事で、人数の多い近畿は審査結果が有利に働いてしまうのではと危惧していましたが、最終発表の3位の結果に出演者のみんなで安堵したのです。

出演者、裏方のみんなは準備時間の限られている中、それぞれがストーリーを考えたり、ボケを考えたり、衣装を用意したり、画像や音楽を準備したりと作業を分担して寸劇を完成させることが出来、近畿青年税理士連盟の結束もさらに高まったと思います。

最後になりますが、シンポジウム、全国大会とご準備や運営を頂いた全国大会実行委員会、研究部の皆様に感謝を申し上げて結びといたします。本当にありがとうございました。



神奈川青税

菅原 亜実

令和6年8月3日（土）。いざ、名古屋へ！
生後7か月の我が子連れて初めての新幹線、
初めてのホテルでの宿泊。気合を入れての前泊
です。

今回の神奈川青税は「これからの税理士の業
務のあり方～無償独占について考える～」が
テーマです。夫に「ちょっとコーヒーでも飲ま
ない？」のテンションで「ちょっとシナリオ
作ってくれない？」と言われたのは今年のゴー
ルデンウィークが明けた頃。そのころ我が子は
生後4か月。何を隠そう、私の夫は現在の神奈
川青税代表幹事の深沢です。以前から「シンポ
やるならハリーポッターかなあ。純血の税理士
は二世で親が税理士ってことにして。マルフォ
イは石澤さんがいいなあ。」と話していたので
すが、これが現実になるとは。ただ、この時点
で決まっていたのはマルフォイが石澤健太会員
だということだけでした。

私がハリーポッターと賢者の石を映画館で初
めて見たのは中学生の頃。夏休みには金曜ロード
ショーで放送されたハリーポッターと賢者の
石を録画し、録画したビデオを毎日のように流
しながら夏休みの宿題をしていました。CMの
部分でしか宿題進まなかったな～、懐かしいな
～、と思い出に浸りながらシナリオが完成した
のは6月下旬。そこから本格的にシンポの発表
準備を始めたのですが、参加してくれる会員が
10人以上いたことは本当にありがたいことでし
た。私は我が子を抱っこしながら練習に参加。
週1ペースで集まって、衣装やセリフ合わせ、
マイク回しや立ち位置の確認など、本当にお疲
れ様でした！いい大人たちがコスプレをして、
あーだこーだ言いながら何かを作り上げるとい
うのは、なかなか楽しいものでした。

練習が進むにつれて「だめだ…このシナリオ

はただ滑るだけかもしれない…」という恐怖と
不安でブルブルしていたのですが、「やるなら
1位を目指そうぜ！」という神奈川青税のみな
さんの心意気にも本当に救われました。感謝し
ています。

セリフが多くてもめげずに暗記してくれたハ
リー稲葉さん、演技するときの表情もしっかり
つくってくれたロン青木さん、挙手のシーンで
何度もダメ出しをくらいながらも研究してくれ
たハーマイオニー松浦さん、忙しい中出演して
くれたマルフォイ石澤さん、声のトーンを変え
てほしいという無茶ぶりに対応してくれたクイ
レル吉澤さん、写真だけの出演で会場を沸かせ
るシロタモート城田さん、常にみんなを鼓舞し
てくれたダンブルドア吉田さん、一番こだわ
りを持って協力してくれたハグリッド高柳さん、
いつも我が子をあやしてくれたマクゴナガル矢
野さん、一番セリフが言いづらかったのに最後
完璧だったスネイプ高崎さん、人間ではない難
しい役（？）でも卒なくこなしたフラッフィー
深沢、声だけで存在感を出しパワポ操作まで
やってのけた組み分け帽子古本さん、場面転換
で一番重要になる役を引き受けてくれたナレ
ーター古閑さん、本当にお疲れ様でした！ありが
とうございました！

最後に、名古屋青税の皆様をはじめ、本大会
に関わられたすべての方々に厚く御礼申し上げ
ます。



東京青税

鴻野 智 良

2023年1月に合格祝賀会の懇親会で湊前会長に何かお手伝いしますと伝えましたが、3月にシンポジウム実行委員長の打診を受けた際は、正直ヘビーだなと思いました。税理士の業務のICT化は学びたかったので、論文テーマの「税理士の業務のICT化と納税者の権利擁護」は迷わず決めました。

勉強会の講師をどなたにお願いするかを、6月の定期総会の懇親会で高橋千亜紀さんに相談したところ、「ICT化ならハガックスよ」と即答いただきました。その場で直ぐに芳賀さんをお願いに上がり、ご快諾いただきました。納税者の権利擁護については、7月に研究部長だった岩田さんに相談し、故北野弘久先生の高弟でいらっしゃる石村耕治先生にお願いしました。

8月の国会図書館での資料収集、芳賀さんと石村先生の勉強会を通して、準備万端で論文作成に入りました。しかし、論文作成では、各パートがなかなか仕上がらず、12月の脱稿予定が、最終的には確定申告も挟んで4月中旬に完成しました。とは言え、時間が限られた中、論文メンバー皆が持ち場をしっかりと守り、納得のいく論文が出来上がりました。

シンポジウム発表については、東京青税は寸劇という流れを踏襲することに迷いはありませんでした。脚本、パワポ作成も自作で一気通貫に寸劇に関わりたと思っていました。ただ、題材はなかなか決まりませんでした。2024年GW開けの論文作成の打ち上げで、題材が決まっていなかったことを告白し、論文メンバーに相談しました。すると、全国大会が名古屋であること、名古屋と言えば鳥山明先生、鳥山明先生と言え

ばアラレちゃんと自然に決まりました。「ペンギン村に税務調査が来たことにしたら」と倉林さんからアドバイスもいただき、方向性が定まりました。全18巻（7巻は重版中止）を大人買いし、リアルタイムで見ていた以上に、アラレちゃんと向き合い脚本に取り組みました。

キャストイングは舞台に立つのは3人、東京03のような掛け合いを目指すという思いを秘めていました。4月の厚生行事から、若手には積極的に声をかけていたので、アラレちゃんは上原さんをお願いしました。ペンギン税務署職員は梁川さんをお願いしましたが、裏方志望ということでパワポ操作をお願いしました。6月下旬に脚本は仕上がりましたが、税務署職員と千兵衛さんが未定でした。片方が決まれば、残りは私が思いながら、パワポの作成に取り組みました。ようやく千兵衛さんは加納さん、税務署職員に私という配役が7月上旬に決まり、稽古に入ったのは、7月中旬でした。

ただ、キックオフからは怒濤の稽古と脚本の手直しで、最初は10分程度だった脚本が加納さんのアレンジで20分程度になり、メンバーの意見を吸い上げながら、寸劇が形になるのを目の当たりにすることが出来ました。

ディフェンディングチャンピオンとしてタイトル防衛はなりませんでした。当日はメンバー4人で一致団結してベストのパフォーマンスが出来たと思います。ご声援ありがとうございました。8月から合格祝賀会実行委員長として、蟬のごとくもう少し、せわしなく鳴いてみます。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。





名古屋大会総括 ～全国大会を終えて～

名古屋大会実行委員長 安藤 宣貴

8月4日シンポジウム・全国大会当日、天気にも恵まれ、本当にたくさんの方にお越し頂きありがとうございました。ただ本当に暑かったですよね。まあ、当日雨だったらイヤだなと思っていたので、雨が降らなくて良かったです。

振り返ると、実行委員長の役を頂くとき、誰から誰への会長のバトンタッチになるのかな？と思いました。青税歴もまあまあ長くなり、いろいろ顔が浮かぶ中、富川さん・高橋君（普段の呼び方で申し訳ございません）の2人だったらいいなと勝手に思っていました。2人とも歳が近く付き合いも長いので、勝手に親近感もっていました。そんな2人の大切な1日をお手伝いできてうれしく思います。もちろんお越し頂いた来賓の皆様や会員の皆様にもより良いものを提供したいという気持ちも強く思っていました。「うまくできなのかなあ？」至らない点もあったかと思えます。ただ、岐阜青税、実行委員や名古屋青税その他皆様のご協力を頂き何とか終わったのかなと実感しております。私は実行委員長の役を頂いていましたが、実働は名古屋青税の仲間たちに本当に助けられました。本当にありがとうございます。



今年は全国大会前日に韓国税務士考試会との交流を岐阜青税さんにご協力頂き、岐阜の十八楼という温泉旅館にて行いました。前日の理事

会が終わった後、岐阜に移動し、宴会を行った後、鵜飼を見に行き、一部はまた部屋飲み。深い交流ができたのではないかなと思います。深夜までお付き合い頂いた皆様ありがとうございました。韓国税務士考試会の方も「温泉は素晴らしい」と絶賛でした。本当は散策時間もあったのですが、何しろ暑くて、暑くて…。外を歩くのはできなかったですね。全国大会の翌日も新執行部と韓国税務士考試会の交流をしました。名古屋駅周辺でお買い物時間をつくり食事をしました。本当はそのあと、大須という場所で散策時間もあったのですが、何しろ暑くて、暑くて…。雨じゃなくて良かったのですが、本当に暑い3日間でした。



シンポジウムと定時総会を同日開催することになって、神奈川大会、大阪大会に続き3回目。過去2回は定時総会→シンポジウムの順でしたが、今回の名古屋大会ではシンポジウム→定時総会とさせていただきました。名古屋という地理的な条件もあり、シンポジウムが先でもやりやすかったと思います。その分シンポジウムの発表者の方にはご迷惑をおかけしたかもしれません。ご理解ご協力いただきありがとうございます。石澤研究部長、お疲れ様でした。ちょっとトラブルがあったかもしれませんが、何とか無事乗り切れましたね。石澤さんと一緒に携われて楽しかったです。単位青税を超えて一緒に

やれるのも全国青税の良いところですね。

定時総会で本当のトラブルというか、想定していたよりも白熱したというか、より審議を深くやれたというか…、とにかく時間が押ししました。本当は時間関係なくとことんやれるようにしたいと思いましたが、なかなかそれは時間の関係上、許されませんでした。新旧執行部にもっと意見をぶつけないかと思った方、労いやエールを送りたかったという方、様々いらっしゃると思います。至らぬ運営で申し訳ございません。ただ、引き続き、新執行部高橋会長が受け取ります。ぜひ活動に注視してください。

熱い定時総会も終わり懇親会に移りました。押した時間を取りもどそうと懇親会も若干巻き気味で進めることになってしまいました。もともと時間がタイトでしたが、より窮屈になって申し訳ございません。本当は歓談時間を設けて本当は久しぶりに再会した仲間と時間をゆっくり使ってほしいという思いはありましたが、運営は難しいですね。そんな中、私にもサプライ



ズ！実行委員長お疲れさまという、高橋新会長からの労い！私一人でできるわけもなく皆さんのご協力のおかげですが、本当にありがとうございます。本当に感謝に尽きる3日間となりました。引き受けてよかった！

来年は東京です。東京青税さん中心となり進めていくことになると思います。高橋会長の成果をしっかり見守り、熱い定時総会にしましょう。名古屋にお越しいただいた皆様ありがとうございます。また来年東京で会いましょう。

名古屋大会 懇親会スケッチ



税経新人会全国協議会理事長夫人
作成のスイカアート



シンポ優勝は神奈川青税！ 考試会とのプレゼント交換



富川前会長、阿部前総務部長へ感謝の花束



来年は東京開催！！

東日本大震災、震災遺構視察報告

会長 高橋 紀 充

「震災は繰り返される、だから決して忘れず語り継いでいかなければならない。」

1. 視察の目的

当連盟では2013年仙台全国大会翌日に多くの会員が被災地を視察しました。過去を見つめ、過去から学ぶため、2013年に訪れた被災地をあらためて視察し、皆さんで見聞きしたことを後世に伝え継いでいただきたいと思いますと思い企画しました。

2. 視察先

2013年に訪れた南三陸さんさん商店街、旧防災対策庁舎、大川小学校（当時、交通事情により訪問断念）の他に、門脇小学校を視察先として選びました。大川小学校、門脇小学校は、現在「石巻市震災遺構」として私たちの記憶を紡ぎ、未来のいのちをつなぐ役目を担っています。

3. 集合場所（仙台駅東口）から門脇小学校へ、「命の道」を通して

有志28名で観光バス（旅行会社／株みちのく観光様）に乗り、門脇小学校に向けて出発しました。バスガイドさんの説明によれば、バスが走行した三陸縦貫自動車道（仙台市～青森県八戸市）は震災当時「命の道」と呼ばれていたそうです。震災当時は現在の3分の1程度しか完成していなかったそうですが、海岸沿いを走る国道45号線が津波等により寸断されていたため、この自動車道がなければ内陸に物資を運ぶことができなかったそうです。

4. 門脇小学校「自然がつくりだしたこの世界と向き合うことの意味」

門脇小学校の児童・教職員らは訓練どおりに日和山へ避難し、犠牲者を出すことなく無事だったそうです。津波と火災の教訓を残すために、校舎の一部が当時のまま保存され、校舎や体育館を利用した展示が、自然と向き合うことの意味を考えさせられました。

5. さんさん商店街「笑顔とパワーに満たされる」

2013年当時は仮設商店街でしたが、2017年に町の中心地に震災後8.3mほどかさ上げされた高台の造成地に本設としてオープンしていま

した。当日も多くの地元の方、観光客で賑わっていました。私たちも思い思いのお店に入り、2013年視察を経験した会員も当時を思い出しながら名物きらきら丼などを食べ、笑顔とパワーをいただきました。

6. 旧防災対策庁舎「3月11日に思いをはせ、祈る」

復興工事により旧防災庁舎の周辺は海拔10mまで土地がかさ上げされていました。そのため、旧防災対策庁舎が残る場所は窪んだ土地になっており、2013年当時とは景色が変わっていました。高さ10mの土地から旧防災庁舎を見たとき、15.5mの津波の大きさをあらためて感じ、犠牲となった方々に献花と祈りを捧げました。

7. 大川小学校「胸が締め付けられる思い、こみあげる涙」

高さ8.6mもの津波が学校をのみこみ、児童74名、教職員10名が犠牲になりました。元気いっぱいの子供たちがいない校舎が私たちの胸を締め付けます。校舎前にある献花台で有志全員が白いカーネーションを1本ずつ献花し、いのちの尊さを考えながら祈りました。

『2011年3月11日 いつもと同じ朝でした「行ってきます」の後ろ姿を見送ったあの日「寒かったでしょう」とあたたかい手で抱きしめてあげたい』（校庭内の石碑より）。

こみあげる涙がとまりませんでした。

8. 結び「当たり前前の日常は当たり前ではない」

私自身、当たり前前の日常が当たり前ではないということをあらためて教えられ、自然の力、いのちの尊さを考えさせられる視察となりました。

今回参加されなかった方も、どうか震災のことを忘れず、未来へ語り継いでいてください。そして、もし機会があれば被災地に足を運んでいただければ幸いです。

最後になりましたが、当日はあいにくの雨の中、多くの会員にご参加をいただきました。ご参加いただいた皆様、そして視察準備にご協力いただいた皆様に心から感謝申し上げます。



門脇小学校



津波と火災の跡



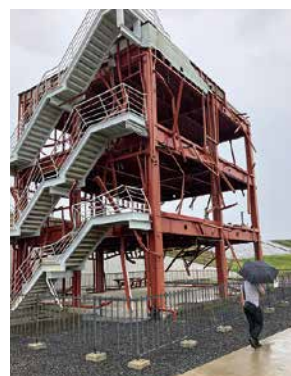
焼け焦げた机・椅子



南三陸さんさん商店街



旧防災庁舎



旧防災庁舎裏側



さんさん商店街で昼食



旧防災庁舎で献花する高橋会長



大川小学校



大川小学校で祈りを捧げる高橋会長



ひしゃげた車両



大川小学校での献花



大川小学校慰霊碑



震災遺構大川小学校のメッセージボード



視察に参加した皆様

全国青年税理士連盟ホームページのご案内

<https://aozei.com/>



当連盟規約、慶弔見舞金申請書もこちらからご覧いただけます。

全青税の活動報告ブログの掲載や、提出した意見書・要望書の掲載をはじめ、各種リーフレットを掲載しております。必要に応じてダウンロードしてご利用ください。会員の皆様のお仕事にお役立ていただけますと幸いです。

ホームページ内でパスワードが必要な場合は「zenaozei」とご入力ください。

2024 年全国青年税理士連盟 研究論文集のご案内

【新時代に求められる税理士の役割】

シンポジウム論文集は全青税ホームページからダウンロードできます。



パスワード：zenaozei

五十周年記念サイトのご案内

全国青年税理士連盟五十周年記念サイトは下記よりご覧いただけます。

<https://aozei50th.com>

パスワード zenao50th

サイト内でユーザー名、パスワードを求められた場合

ユーザー名 zenao パスワード 50th



あ と が き

最後までお読みいただきありがとうございました。

今回初めて広報紙をカラー刷りとさせていただきますが、いかがでしたでしょうか。感想などお聞かせいただけますと幸いです。

全国大会の様子や震災遺構視察での状況等、より皆様にお伝え出来たのではないかと考えております。

今年度も広報部では会員の皆様に活動内容を分かりやすくお伝えできるよう努めてまいりますので、本広報誌の他、是非全青税ホームページも覗いてみてください。

広報部長 高柳 律彦